

みんなで始める地震防災対策

地震防災セミナー in 函館

地震に備えた住まいと暮らし～阪神・淡路大震災の語り部に伺う～

【入場無料】

主催：北海道・函館市

後援：(社)北海道建築士会・(社)北海道建築士事務所協会・(社)日本建築学会北海道支部

近年、全国各地で大規模地震が発生しています。おととしの新潟県中越沖地震や、昨年の岩手・宮城内陸地震、そして今年8月の駿河湾の地震など、震度6以上を記録する地震が頻発し、また、本道においても日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震の切迫性が指摘されるなど、「大規模地震がいつ、どこで起こってもおかしくない」状況であるといわれています。このようななか、耐震化の備えの重要性について改めて考えを強くしていらっしゃる方も多いことでしょう。

6,434名もの命が奪われ、32万人が避難生活を送った平成7年の阪神・淡路大震災。震災当時神戸市内に住み、芦屋市役所で建設部長として働いていらっしやった谷川三郎さんをお招きして、市民として、行政マンとして、2つの目線からとらえた体験をもとに、地震に備えた住まいと暮らしづくりのポイントについてお話を伺いたいと思います。

このセミナーを通して皆様の安心・安全な住まいと暮らしづくりに少しでもお役に立てればと思っていますので、ふるってご参加ください。

開催日時 2月10日(水) 午後1時30分から4時30分まで

開催場所 函館市民会館小ホール [函館市湯川町1丁目32-1]

セミナーの内容

■ 基調講演

『阪神・淡路大震災～その体験を語る～』

阪神・淡路大震災記念「人と防災未来センター」語り部 谷川三郎氏



昭和34年芦屋市役所入所。建設部長在職時の平成7年に阪神・淡路大震災に遭遇し救援・復興活動に尽力。平成9年芦屋市役所退職。平成14年から「人と防災未来センター」の語り部として自らの震災体験を語り継ぐ。

■ 阪神・淡路大震災の語り部に伺う

阪神・淡路大震災記念「人と防災未来センター」語り部 谷川三郎氏

《聞き手》北海道立北方建築総合研究所性能評価室長 南 慎一

お申し込み方法

入場無料です。下記あてお申し込みください。

(会場に余裕があれば、当日のお申し込みも可能です。)

会場には300名程度のお席をご用意しております。

駐車スペースが限られておりますので、できるだけ公共交通機関等をご利用ください。

お申し込み・お問い合わせ

函館市都市建設部建築指導課 電話 0138-21-3397

電子メール ken-shidou@city.hakodate.hokkaido.jp

ファックス 0138-27-3778

入場人数、氏名(代表者名)を記載のうえ、件名を「地震防災セミナー申込み」として送付してください。